

クロストーク

山田 貞雄さん

大原 隆明さん

桜と日本人

山田孝雄『櫻史』をめぐって

2024年 3月24日 14:00 ~ 15:30

- 場所 富山市立図書館本館(Toyamaキラリ)2階ロビー
- 対象 一般
- 定員 100人程度※当日先着順

日本人が古くから親しんできた「桜」。日本人にとってなぜ桜が特別なのがわかる山田孝雄の名著『櫻史』をテーマに、山田博士の孫である山田貞雄さんと、「富山の桜博士」とよばれる大原隆明さんにお話ししていただきます。



やま だ さだ お
山田 貞雄さん
国立国語研究所 勤務



おお はら たか あき
大原 隆明さん
富山県中央植物園 研究員

同時開催

春が待ち遠しい!
図書展示 桜の本

- 場所 富山市立図書館本館(Toyamaキラリ)4階一般図書フロア
- 期間 2月22日(木)~3月24日(日)

質問募集

山田貞雄さん、大原隆明さんに聞いてみたいことを募集します。

- 応募方法
- ①左記図書展示場所にて記入
 - ②右記QRコードより送信



期間：2月22日(木)~3月11日(月)まで



主催 富山市立図書館交流行事運営委員会
(事務局：富山市立図書館 読書推進係)
富山市西町5番1号 / TEL：076-461-3200

山田 孝雄博士とは？



国語学・国文学者(1875-1958)

明治8年(1875)、富山県富山市総曲輪に生まれる。富山県内の小学校や兵庫、奈良、高知などの中学校で教員を勤めながら、独学により国語学・国文学を研究する。

明治35年(1902)、日本古来の文法学に西洋の文法理論を取り入れた『日本文法論上巻』(大阪堂文館)を刊行する。明治41年(1908)、同書は全1巻本として完成。昭和4年(1929)、『日本文法論』により、文学博士の学位を受ける。

日本大学教授、東北大学教授を歴任し、国語学・国文学・国史学・書誌学など広い分野にわたり著しい研究成果をあげた。『奈良朝文法史』『平安朝文法史』(ともに大正2)『連歌概説』(昭和12)など国語文法・国文学に関する著作が多く、その功績は顕著である。

昭和32年(1957)、文化勲章を受章。第1号の富山市名誉市民となる。昭和33年(1958)、仙台市にて永眠。富山市呉羽山長慶寺地内に葬られた。

富山市立図書館では、平成8年(1996)、山田孝雄博士のご遺族から、博士の旧蔵書の寄贈を受け、平成11年(1999)11月、山田孝雄文庫として開設。蔵書は約18,000点。(洋装和書8,800冊、洋書167冊、雑誌445冊、著作840点、和装本6,600点)



『櫻史』とは？
桜と日本人のかかわりの歴史について、文献が残されるもっとも古い時代からの逸話、詩歌、人物のあらゆる事柄をまとめている。日本人の“桜観”が浮き彫りになる一冊。初版は、1941年。

『櫻史』山田孝雄/著
講談社学術文庫



やま だ さだ お
山田 貞雄さん
国立国語研究所 勤務

1959年、東京都生まれ。図書館情報大学講師、国立国語研究所主任研究員、同専門職員を経て、現在、非常勤研究員。日常の言語生活に潜む「ことば(国語・日本語・言語)」に関するストレスや疑問に、答えている。



おお ほん たか あき
大原 隆明さん
富山県中央植物園研究員

1968年、愛知県生まれ。富山県中央植物園研究員。東京都立大学理学部在学中に植物分類学を専攻し、野生種のサクラの分類をテーマとして、研究に打ち込んだ。後に桜の専門家となり、いつしか“富山の桜博士”と呼ばれるようになる。桜に関する研究活動を展開しながら、メディアにも度々出演。

富山市立図書館 本館のご案内



▶ 富山市立図書館(TOYAMAキラリ) 富山市西町5番1号

【休館日】

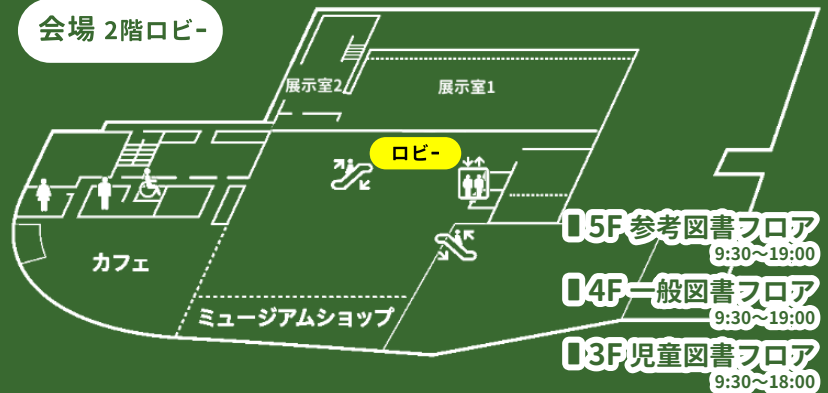
- 毎月第1水曜日(祝日の場合は翌日)
※5・1月は第2水曜日
- 年末年始(12月29日～翌年1月3日)
- 蔵書点検期間

【貸冊数と期間】

- 図書(雑誌・紙芝居含む)
10冊まで2週間

※図書利用カードの作成が必要です。

会場 2階ロビ-



- 市内電車
「グランドプラザ前」「西町」より徒歩2分
- JR・あいの風とやま鉄道
「富山駅」より徒歩20分
- 地鉄バス
「西町」より徒歩1分
- 自転車
駐輪場はTOYAMAキラリの南東側

※専用駐車場はありませんので、車でお越しの際は、周辺駐車場をご利用ください。
※生花の持込はご遠慮ください。

05F 参考図書フロア
9:30~19:00

04F 一般図書フロア
9:30~19:00

03F 児童図書フロア
9:30~18:00

富山市立図書館
ホームページ・SNS

Website & SNS

ホームページ



X (旧:Twitter)



Facebook



YouTube



イベントや図書展示の最新情報、過去の行事の動画配信など
さまざまな情報を発信しています。